



令和2年8月6日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス
代表者名 代表取締役社長 安田 忠史
(コード番号: 4671 東証第一部)
問合せ先 取締役管理室長 大西 規和
(TEL. 075-257-8585)

業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

令和2年5月12日に公表いたしました「令和2年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました業績予想及び配当予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 令和3年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期 純利益 |
|----------------------------------|-------------------|--------------|-------------|--------------------------|---------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 円 銭 — |
| 今回修正予想 (B) | 19,000 ～20,000 | △100 ～300 | △50 ～350 | △100 ～200 | △9.68 ～19.37 |
| 増減額(B-A) | — | — | — | — | |
| 増減率 (%) | — | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (令和2年3月期第2四半期) | 21,933 | 682 | 724 | 275 | 25.71 |

(2) 令和3年3月期通期連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------|-------------------|---------------|---------------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 円 銭 — |
| 今回修正予想 (B) | 39,000 ～40,000 | 600 ～1,000 | 700 ～1,100 | 500 ～700 | 48.42 ～67.78 |
| 増減額(B-A) | — | — | — | — | |
| 増減率 (%) | — | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (令和2年3月期) | 43,185 | 841 | 941 | 1,243 | 116.87 |

2. 配当予想

令和3年3月期配当予想

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前 回 予 想 (令和2年5月12日発表) | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — |
| 今 回 修 正 予 想 | — | 24.00 | — | 24.00 | 48.00 |
| 当 期 実 績 | — | — | — | — | — |
| 前 期 実 績 (平成2年3月期) | — | 23.00 | — | 25.00 | 48.00 |

3. 業績予想及び配当予想の公表の理由

令和3年3月期の連結業績予想につきましては、「令和2年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」公表時には新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの業績への影響を合理的に把握することが困難であったため未定としておりましたが、国内における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開等の動きが見え始めたこと、また、当社グループの令和2年4月から6月の業績及び現時点における入手可能な予測等を踏まえ、連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、今後の事業活動への影響を信頼性の高い数値として算出することが困難であることから、連結業績予想をレンジ形式にて算定しております。

売上高に関しましては、臨床検査事業の検体検査売上高は新型コロナウイルス感染拡大による受診患者数の減少等により、第1四半期においては前年より14%減少いたしました。緊急事態宣言の解除がなされ、県をまたぐ移動制限の全面解除がなされた後の受託検体ID数は、前年を若干下回る水準に持ち直しております(直近の受託検体ID数の推移 前年同月対比 4月度：79%、5月度：78%、6月度：98%)。

調剤薬局事業の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け処方箋枚数が減少したこと等により第1四半期においては前年より6%減少しております。

損益に関しましては、上記の要因に加え調剤薬局事業における薬価改定に伴う薬剤納入価格の妥結状況等の変動要因が大きく、各段階利益及び1株当たり当期純利益においてもレンジ形式といたしました。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、強固な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を維持しながら、内部留保の充実、業績等に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針としております。また、連結業績に連動しつつ、配当の安定性とのバランスを鑑み、剰余金の配当に自己株式の取得その他還元策を含め株主総還元額とし、連結純資産総還元率は3%程度を目標としております。

上記の方針を踏まえ、令和2年5月12日に公表いたしました「令和2年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました配当予想につきましては、本日公表いたしました業績予想に基づき中間配当24円、期末配当24円、年間配当48円を予定しております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上